国語科単元構想図　高知県四万十市立中村小学校第（６）学年　単元名：読んでみて！私の提案　中村小発～みんな一緒に　with コロナプロジェクト～（学習材：「世界に目を向けて意見文を書こう」東京書籍６年）授業者　大野　香奈

1　単元構想

本単元で身に付けたい力

事実と意見を区別して書き、自分の考えが伝わるように工夫して書き表す力

言語活動とその特徴

本単元では、コロナを乗り切るために提案したいことを考え、適切な資料を用いて意見文を書く活動を設定する。

現代のコロナ渦で児童が身近な生活場面の中から抱いた疑問や思いを基に、自分が提案したいことを明確にし、そこに読み手を説得するための根拠となる事実を入れたり、書き表し方を工夫したりすることで、「書くことウ」の力が身に付くと考えている。

教材の特質

本教材は「フェアトレード」を題材にして、目的に応じて様々な資料を収集することや自分の考え（提案したいこと）に適した情報選択の必要性、事実と意見の正しい文章表現などを学習することができる。また、説得力のある意見文を書くことを常に意識して、書き進めていく構成となっている。児童が、読み手の興味を引き、提案したいこと（考え）について根拠（客観的事実）を挙げながら文章を書くことに適している教材である。

児童の実態

児童はこれまでに理由や事例を挙げて文章を書いたり、構成を考えて意見文を書いたりする活動を通して、自分の考えが明確に伝わるように書くことを学習してきている。６月の「防災ポスターを作ろう」の学習においては、資料を整理し、効果的に活用して報告文を書く学習を行っている。

全国学力・学習状況調査において、「書くこと」の記述「事実と意見を区別して書く」では、正答率 65％で、条件に沿って書く力が十分身についているとは言えない。

指導観

学習にあたって、普段の学校生活で児童の会話の中にコロナについての話題を耳にすることが少なくなく、また、夏休みの課題の「見つめる目」の新聞記事でもコロナについての話題を取り上げて書いてきている現状があり、それらのことをきっかけに、本単元に繋げていく。

第一次では、現在、世界的な問題となっている新型コロナウイルスについて、コロナを乗り切る意見文を書くという課題を基に、自分が提案したいと思うことを絞る。更に、自分が伝えたいことに沿った資料を選択して、校外に発信するという主体的な学びを目指していく足掛かりとする。

第二次では、自分が書きたいことを明確にして自分の提案に合う資料を取捨選択する。また、資料について友達と意見交流することで、正しく事実を捉え自分の考えを明確にして文章に生かすようにしていく。意見文を書く際には、教科書に限らず、説得力のある文章を目指して表現方法の工夫を探ったり、調べたりしながら語彙を増やし、自分の提案に活用していく。

第三次では、自分の意見文を友達と推敲し、練り直して考えを広げ深めて、よりよい意見文を仕上げていける学びに繋げたい。本単元で身に付けた説得力のある文章を書く力は、総合的な学習の時間での発表など他教科でも活用できるものである。

2　単元の目標及び単元の評価規準

（１）単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにすることができる。　（１）オ	「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と意見を区別して書き、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。　Ｂウ	言葉が持つよさを確認するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

（２）単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにしている。（１）オ	「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と意見を区別して書き、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。Ｂウ	学習課題を明確にし、粘り強く文章構成を考え、学習の見通しをもって説得力のある意見文を書こうとしている。（意見文を書くために適切な資料を選び、自分の考えをより効果的に伝える言葉を選んで表現しようとしている。）

3　単元の系統性

- １年　語と語や文と文の続き方に気を付けて文章を書く。
- ２年　語と語や文と文の続き方に注意しながら内容のまとまりが分かるように工夫して書く。
- ３年　文章の構成を考え、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして文章を書く。
- ４年　文章の構成を考え、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書く。
- ５年　目的や意図に応じて、事実と意見を区別して説得力のある文章を書く。
- ６年　目的や意図に応じて、事実と意見を区別して説得力のある文章を書く。
- 中１年　根拠を明確にして、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書く。

4　研究主題に迫る手立て

研究主題：目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方
－文章の種類や特徴に応じた書き表し方の工夫－

○説得力のある意見文を書くことを目指して、自分の考え（提案したいこと）を持ち、様々な資料についてグループで意見を交流することで、根拠を挙げて事実と意見を書くことができるようにする。
○読み手により具体的にイメージしてもらうために「言葉の宝箱」を活用したり、思いの強さを文末表現の違いで表したりして言葉を吟味し、効果的に書き表すことができるようにする。

5　学習の流れ

学習過程	主な学習内容及び学習活動	【　】評価規準・○指導上の留意点	言語活動
学習目的の理解と見通し／題材の設定・情報の収集	①コロナ渦でも自分たちの生活を良いものにするための意見文を書くという学習課題をつかみ、単元の学習の見通しを立て、自分が提案したいことを決める。 ②自分が提案したいことと考えた理由を交流し、必要な情報を収集する手段を考える。	○新聞記事や見つめる目等を基にコロナウイルスに関して課題だと感じたことや考えたことから提案したいことの考えを持たせる。　【主】 ○提案したいことに適した資料を選択するために、意見文の中での使われ方を考えさせる。	コロナを乗り切るために提案したいことを考え、適切な資料を用いて意見文を書く。
理解と表現の螺旋的な学び／内容の検討・構成の検討	③教材文で提案したいことに応じた資料選択について確認し、収集した資料から分かる情報を付箋に書く。意見交流しながら、適切な資料を選択する。 ④メモを基に構成を考え、自分の提案する文章の序論を書く。 ⑤様々なテキストを使い、提案に使えそうな言葉を集め、自分たちでまとめながら言葉や表現の工夫、文末表現について探る。 ⑥⑦２時間で下書きを仕上げる見通しを持ち、構成メモに基づいて意見文の下書きを書く。書いた意見文を構成メモに沿って友達と見直しながら個人の進み具合に応じて計画的に書いていく。 本時６/９	○資料についてグループで意見交流することで提案したいことに適した情報を選択させる。 ○自分の考えとその根拠となる事実を付箋に書きながら文章構成を考える。根拠の挙げ方について比較しながら効果的な構成を考えさせる。 ○説得力のある文章を書くための表現方法を吟味し、語彙を増やす。 【知・技（１）オ】 ○提案したいことを裏付ける情報（具体的数値や専門家の言葉など）と自分の考えを意識して、説得力のある文章を書かせる。【思・判・表Ｂウ】	
表現活動・単元の振り返り／考えの形成・記述			
推敲	⑧意見文を書く時のポイントに沿って推敲し清書する。	○説得力のある意見文を目指して、様々な要素を取り入れながら書いた文章をホームページで発信することで、書くことへの意欲を高めさせる。【主】	
共有	⑨友達と意見文を読み、感想を伝え合い、単元の学習を振り返る。		

言葉による見方・考え方の成長

- マスクから鼻が出ている場合と出ていない場合を比較して書きたいな。
- マスクを正しく着用することで、感染が 80％も減になることが書かれている。この数値を書くと必要性を分かってもらえるな。
- どの順序で書くと読み手を説得できるかな。構成メモを並べ替えて読み手の立場で考えてみよう。
- 資料には 28％と書いているから、100 人いたとしたら 28 人と言い換えても、イメージしやすいかな。
- 「～ことができる。」より「～ことができるはずである。」の方が私の考えたことを強調できるな。
- 事実と意見を区別して書けているかな。自分の提案と資料が合っているかな。
- この、資料と言葉にこだわって書いたぼくの意見文を読んで、行動に移してほしいな。

本単元終了時の目指す児童の姿
○目的に応じて集めた資料を比較し、必要な情報を検討する姿。
○自分の考えが伝わるように構成を考えたり、表現を工夫したりして文章を書こうとする姿。

6　本時の学習　（　6　／　9　時間）

（1）目　標

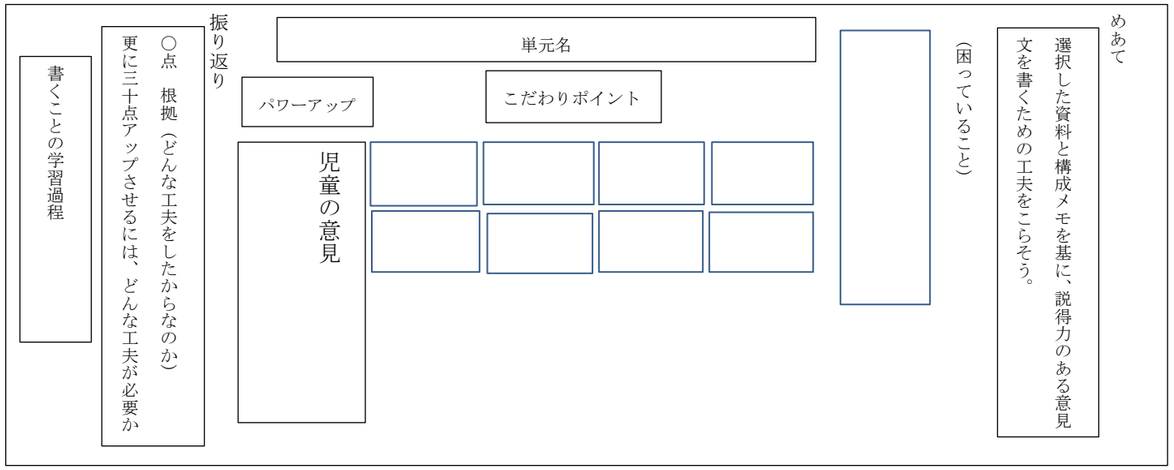
資料と構成メモを基に、事実と考えを明確にしながら説得力のある意見文を書くことができる。

（2）展　開

学習過程	学習内容 及び 学習活動	主な発問（※） 予想される児童の反応（〇）	指導上の留意点（●） 評価規準及び評価方法（☆）
学習目的の理解	1．単元のゴールを共有し、これまでの学習を基に意見文に必要なポイントを確認する。 2．めあてを確認する。		●説得力のある文章を書くために必要なポイントを確認する。
内容の検討 表現 推敲	3．自分の工夫のポイントをグループで話し合う。 （グループ） 4．各自のめあてに向かって、アドバイスし合いながら文章を書き進める。 （個人・ペアなど） ・資料の読み取り ・構成メモの修正 ・語彙集の活用 ・言葉の吟味など （全体）	※下書きを書く上で困っていることは何ですか。 〇手洗いの効果を表す数値を使おうと思うけど、どうかな。 〇構成メモを作ってみたけど、文章にどう書いたらいいのかなあ。 ※自分のこだわりポイントに向けて、グループでアドバイスし合いましょう。 〇構成メモを修正したいから加筆することから始めなければ… 〇読み手がより分かりやすい数値に書き変えよう。 〇意見文を読む相手の事を考えて、どんな書き方があるのか友達に聞いてみよう。 〇説得の工夫を取り入れて、事実と自分の考えは区別して書くのだったね。 〇相手を納得させられる効果的な構成を考えよう。 ※説得力をさらにパワーアップさせるために、もらったアドバイスはどんなことでしたか。 〇資料には「28%」と書いていた。それは100人いたら28人という言い換えもできると言ってもらった。 〇「~ことができる。」より「~ことができるはずである。」の方が、提案したいことを強調できると文末表現のアドバイスをもらった。	●構成メモや資料を基に、自分の考えをどのように意見文を書いていくか伝え合わせる。 ●２時間で下書きを完成させることを確認し、本時における個々のめあてをもたせる。 ●教科書のモデル文や構成メモを基に、自分が伝えたいことをどのように書くのか確認しながら考えさせる。 ●「言葉の宝箱」等を参照しながら書くことを助言する。 ●自分のこだわりポイントを伝えながら対話し、友だちのアドバイスから考えを広げる。 ☆客観的事実を用いて、意見と区別して、文章に書き表している。 【思・判・表Ｂウ】 （発言・意見文）
振り返り	5．振り返り	〇私は〇点になりました。それは、自分の伝えたいことに対して、〇〇を使うことができたからです。次の時間30点アップさせるために「△△」を使うことで自分の考えがよりはっきり伝わると思っています。	●この時間に工夫した内容、さらによりよくするために、次時にする工夫について書くようにさせる。

めあて
選択した資料と構成メモを基に、説得力のある意見文を書くための工夫をこらそう。

（3）板書計画



（4）準備物

ホワイトボード、構成メモ、資料

言語活動のモデル